

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2011-130454(P2011-130454A)

【公開日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2011-026

【出願番号】特願2011-1268(P2011-1268)

【国際特許分類】

H 04 L 1/00 (2006.01)

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 03 M 13/27 (2006.01)

【F I】

H 04 L 1/00 F

H 04 J 11/00 Z

H 03 M 13/27

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

種々のFFTサイズを持つ直交周波数分割多重(OFDM)を用いる無線通信システムにおいてインターリープする方法であって、

1以上のインターレースのサブキャリアをピット反転方法でインターリープすること、前記1以上のインターレースをインターリープすること、
を含む方法。

【請求項2】

サブキャリアの数が2の二乗でなければ前記ピット反転方法は縮小セットピット反転動作である、請求項1の方法。

【請求項3】

ピット反転方法で1以上のインターレースのサブキャリアをインターリープすることはインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方式でコンステレーションシンボル列のシンボルを対応するサブキャリアにマッピングすることを含む、請求項1の方法。

【請求項4】

前記1以上の情報インターレースをインターリープすることはOFDMシンボル毎に行う、請求項1の方法。

【請求項5】

種々のFFTサイズを持つ直交周波数分割多重(OFDM)を用いる無線通信システムにおいてインターリープする装置であって、

1以上のインターレースのサブキャリアをピット反転方法でインターリープするように構成されるプロセッサと、

前記1以上のインターレースをインターリープするように構成されるプロセッサと、
を具備する装置。

【請求項6】

サブキャリアの数が 2 の二乗でなければ前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項5の装置。

【請求項 7】

前記インターレースの数は 8 である、請求項5の装置。

【請求項 8】

1 以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリープするように構成される前記プロセッサはインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方法でコンステレーションシンボルのシンボルを対応するサブキャリアにマップするように更に構成される、請求項5の装置。

【請求項 9】

前記 1 以上のインターレースをインターリーピングすることは O F D M シンボル毎に行う、請求項5の装置。

【請求項 10】

種々の F F T サイズを持つ直交周波数分割多重（O F D M）を用いる無線通信システムにおいて命令を実行するプロセッサであって、

前記命令は

1 以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリープすること、前記 1 以上のインターレースを前記ビット反転方法でインターリープすること、を含む、プロセッサ。

【請求項 11】

サブキャリアの数が 2 の二乗でなければ、前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項10のプロセッサ。

【請求項 12】

前記インターレースの数は 8 である、請求項10のプロセッサ。

【請求項 13】

ビット反転方法で 1 以上のインターレースのサブキャリアをインターリープすることはインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方式でコンステレーションシンボル列のシンボルを対応するサブキャリアにマッピングすることを含む、請求項10のプロセッサ。

【請求項 14】

前記 1 以上の情報インターレースをインターリープすることは O F D M シンボル毎に行う、請求項10のプロセッサ。

【請求項 15】

種々の F F T サイズを持つ直交周波数分割多重（O F D M）を用いる無線通信システムにおいてインターリープする装置であって、

1 以上のインターレースのサブキャリアをビット反転方法でインターリープする手段と、

前記 1 以上のインターレースを前記ビット反転方法でインターリープする手段と、を含む、装置。

【請求項 16】

サブキャリアの数が 2 の二乗でなければ、前記ビット反転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項15の装置。

【請求項 17】

前記インターレースの数は 8 である、請求項15の装置。

【請求項 18】

ビット反転方法で 1 以上のインターレースのサブキャリアをインターリープする手段はインターレーステーブルを用いて割当てスロットインデックスに従って逐次線形方式でコンステレーションシンボル列のシンボルを対応するサブキャリアにマッピングする手段を含む、請求項15の装置。

【請求項 19】

前記1以上の情報インターレースをインターリープすることはO F D Mシンボル毎に行
う、請求項1 5の装置。

【請求項20】

種々のF F Tサイズを持つ直交周波数分割多重(O F D M)を用いる無線通信システム
においてインターリープするシステムであって、

ビット反転方法で1以上のインターレースのサブキャリアをインターリープするように
構成されるプロセッサと、

前記1以上のインターレースをインターリープするように構成されるプロセッサと、
を具備する、システム。

【請求項21】

サブキャリアの数が2の二乗でなければ、前記ビット反転方法は縮小セットビット反転
動作である、請求項2 0のシステム。